

1. 最近の外資進出関連情報

- ・1/16、鴻池運輸(本社:大阪市)は、プノンペンに駐在員事務所を設立したと発表。同社はメコン地域では、ミャンマーにも昨年駐在員事務所を開設したほか、タイ、ラオス、バングラデシュにも拠点をもっている。今後は中国などから同地域への工場設備の移転需要などを狙っていくという。
- ・1/18、日本精密は、3月をメドにカンボジアに時計部品の製造販売子会社「ニッセイ・カンボジア」を設立すると発表。人件費の上昇や対日感情の悪化といった問題が顕在化する中国に拠点を置く取引先の時計メーカーのリスクを軽減する狙い。
- ・1/23、デンソーは、カンボジアに進出し、7月から2輪車部品を生産すると発表。投資額は約3500万円、プノンペン経済特別区で工場を借り、2輪車用発電機のセンサー部品を生産、製品はタイにあるデンソーの生産拠点に輸出。

2. タイとの国境問題

- ・1/21、「タイ愛国ネットワーク」を名乗る市民団体が、カンボジアとの国境問題に関し、バンコクの王宮前広場と最高裁前などで集会を行った。参加者は数百人で、同団体は、ヒンズー教遺蹟プレアピヒア周辺の国境未確定地域について、タイ領であると主張し、今年10月にも国際司法裁判所が示す判決を拒否するよう主張している。
- ・タイ前首相のアピシット氏とカンボジアのフン・セン首相が舌戦。領土問題でタイの市民団体が抗議活動を行ったことについて、カンボジアのフン・セン首相が、「政治的な駆け引きがあり、裏でアピシット前首相が工作をしている」と発言。これについてアピシット前首相が、フン・セン首相とタクシン元首相とのガス田開発疑惑まで持ちだして応酬。舌戦に発展している。

3. シェムリアップの新空港建設は低調な出足

韓国企業2社によるおよそ 10 億円の投資を受けて建設されているシェムリアップ国際空港(NSRIA)は、軌道に乗った出だしではないようだ。シェムリアップ国際空港の株は、Camco Airport Co 社と Lees A&A 社の2つの韓国企業に、それぞれ50%ずつ所有されている。その韓国企業に、カンボジア政府は、国際レベルに見合う空港の建設を求めており、予定では1年に1000万人から1500万人の受け入れを見込んでいる。シェムリアップ国際空港運営委員会の議長を務める Tek Reth Samrach 氏は、韓国企業から建設計画に関する最新の報告書の提出をうけたと話し「会社の代表が先週私たちとミーティングを行ない、建設があまりはかどっていないと言う事と、いくつか問題に直面していると言った事を話しました。しかし、これらの問題はすでに解消されたようで、現在は新しい財政計画を完成させているようです。もちろん、2010年建設の契約書にサインして以来、彼らの仕事がちょっと遅かったということを、私も感じています。現在、2013年を迎えたというのに、工事はなにも行われてはいません。しかし彼らの資本投資に注目すると、これは莫大な額なので、もう少し時間が必要なのだという事はわかりました」と述べた。

新たな空港の建設地は2つの地域にまたがっており、地方都市から60キロほど離れたところにある。Tek Rethsamrach 氏は、これらの土地の購入のためにすでに1億ドルほどを会社は投資していると話している。ポスト誌は、会社は2012年5月に空港の着工式を行う予定であったと報じていたが、その式はいまだ行われていない。また3月にポスト誌は、シェムリアップ国際空港の幹部が、Busan 貯蓄銀行における不正融資の罪で、懲役7年を言い渡されたことを報じていた。

4. 1/15、2013年のカンボジアのGDP成長率は7%見込み

政府職員は、不安定な世界経済であるにも関わらずカンボジアの2013年のGDP成長率が7%ほどであると予想している。一方、世界銀行とアジア開発銀行、国際金融機関によって予想されている数値は、平均して6.7%となっており、政府の出した数値よりも若干低いものとなっている。商務省の Ou Proum Virak 氏は、「世界経済は現在、回復の兆しを見せている。カンボジアの経済は去年好調に動いており、この傾向は今年も続くであろう。政府の具体的な政策により、我々は世界経済危機から逃れることができました。そのため去年の経済成長率は7%を維持することができ、今年も同じ数値が期待できると思います。衣料品の輸出や観光、農業や建設などはまだまだ成長する傾向にあります。ヨーロッパにおける債務危機や、アメリカのなかなか進まない経済回復などといった要因により2012年～2013年におえる世界経済の見通しが、未だ高いリスクを含んでいるのは確かですが、カンボジアの経済状況はこの7%を実現する為の力がある事を証明するでしょう」と、1/15の貿易セミナーにおいて、話した。

5. 1/8、カンボジア発で初の電気自動車誕生

カンボジア発で初の電気自動車である the Angkor EV 2013 は、Kandal 州に拠点を置く Heng Development 社によって、1/7、正式に発表された。

Heng Development 社の最高責任者である Seang Chan Heng 氏は、「この車は現地の発明家 Nhean Phalloek 氏によって開発された偉大な車である。バッテリー充電式の Angkor EV 2013 は、一度の充電で 300 キロメートルを走行することができ、また、最高時速は 60 キロである」と話した。

しかし Heng 氏は、「Angkor EV 2013 はすでに正式に発表されているが、1 年にどれほどの台数を生産できるか、また、新たな投資をどれほど必要とするかなどはまだ分かっていない。2013 年、市場にある程度の台数は出回るでしょう。しかし正確な数はまだ分らないです。ただ私の会社も Phalloek 氏も、この製品を売りに出すことは明確にしています」と話している。また Angkor EV 2013 の値段は未定だが、Heng 氏は 10,000 ドル以下だろうとしている。「Angkor EV 2013 に使われる部品のいくつかはカンボジアで生産されており、他は中国や日本、ドイツなどから輸入をしている。また、Koh Kong 州に自動車部品工場が出来たことは、輸入に頼らず、なるべくカンボジア国内でこの車を作っていくための、良い兆候である。カンボジアで生産されるスペアパーツは安く手に入るし、短時間で運ぶことができる」、と Phalloek 氏は話した。「Angkor 2013 の発明はクメール人の誇りです。この国の市民も文化も、歴史的に素晴らしいものです」と、国会副会長の Khoun Sodary 氏は、誇らしげに話す。



6. ストライキ関連情報

①Svay Rieng Cambodia Garment factory 社にて抗議活動発生

まもなく閉鎖予定にある Svay Rieng Cambodia Garment 工場周辺では、1,000 人以上の労働者が 2012 年 12 月 31 日、抗議活動を行なった。この工場は 1 月 1 日に工場閉鎖が発表され、新しい場所への移転が予定されている。労働者代表の Pang Tra 氏は「会社は我々に対して、12 月分の給与と手当の支払いを現在行なっています。また工場閉鎖を知らされた際に少額ですがお金を受け取りました。しかし労働者たちはさらに退職金と保証金の支払いを要求しています。私たちが要求しているのはそれぞれに 100 ドルほどですが、会社はたった 40 ドルしか同意してくれません。要求が満たされるまで労働者たちは抗議を続けるつもりでいます」、と付け加えた。

②カンボジアの労働組合は失神について、悪臭との関連性を言及

2012 年仕事中に失神を起こした労働者数の統計に関して、労働者組合代表と政府職員がまったく違った数値を把握していることが明らかになった。自由労働組合は昨日、工場で失神した労働者の数は 2,100 人以上に昇ると発表したが、政府はこれに対しここ数年間でこの問題は減少しつつあるとして、失神したのは 1,686 人ほどだった、としている。

「悪影響を及ぼす煙や整備されていない職場環境、残業や低賃金などといった問題が労働者に不健康な状態をもたらし、2011 年は 1,800 人以下だったのに対し、2012 年は 29 もの工場において計 2,107 人が失神した」、というのが自由労働組合代表の Chea Mony 氏の主張である。例えば、Kampong Speu 州にある The Anful 縫製工場は、2012 年に出した労働者失神件数が最多となっている。ここではおよそ 300 人の労働者が、殺虫剤を撒いた事により気を失った。「このような事件があるのだから政府はもっとこの問題に関して注意を払うべきである」、と Mony 氏は話す。そして「昨年 5 月、失神者を出さないようにとフン・セン首相が政府に命令を下した後の短期間は、政府の注意もこの問題に注がれていました。しかしその期間内に行わ



れていた政策は実は、長期間ではほとんどなんの意味ももちません。政府はそういったことよりも、安全面での利点や然るべき額の給与、健康的な環境などを労働者に提供できるようことに関して努力すべきである」、と述べている。

逆に Labour Health Department 局長 Pok Vanthats 氏や労務省役人、そして職業訓練協議会などは失業者の数について、ここ数年間で減少しており、去年は 1,686 人だと話している。

③縫製業の抗議者達は政府に解決策を打診

200 人ほどの縫製業労働者が、Kandal 州にある工場から社会問題相まで移動しながらデモを行なっている。すでに 2 週間ほど行われており、労働者達は解決策を要求している。労働者代表は、Ang Snuol にある Master and Frank factory の労働者たちとの話し合いの場を持てるようにと政府職員と会合を行ない、「社会問題相や労務省の職員たちと交渉を行いました。争議を終わらせるために労働者たちと会ってくれと、彼らは会社役員に頼んでくれると言いました」と代表の Saom Sokhim 氏は話した。労働者たちは 12 月 19 日からストライキを行なっており、解雇された 10 人の復職を要求しているという。ストライキを止めるようにとの命令を裁判所がすでに出しているにも関わらず、労働者達はストライキを継続中である。ストライキ・デモ活動鎮静化のための委員会の事務局次長である Vong Sovann 氏は、「社会問題相が解決策を話し合う会議を取り仕切るはずだったが、会社側がもう一日待ってくれ、と頼んだことにより会議は今日に延期されている」と話している。

④Master&Frank factory 社の抗議活動～その後～

カンボジアアパレル労働者民主組合連盟の代表者である Ra Sambath さんは、「12 月 26 日ストライキ活動の最中に、工場の警備員や地元警察官から気絶するまで殴られた」と話している。彼は自分が暴力の被害者であるとして、州裁判所に不平を訴えた。しかし彼自身ストライキ行為中に他人に暴力をふるい、また、会社の備品を損害させたなどの申し立てを受け、昨日 Kandal 州警察本庁に呼び出しを受けた。「2 人の同僚と共に明日、警察本庁で取り調べを受ける予定です。どうして会社が私たちを訴えようとしているのか、理解できません。つい先日、州警察から召還状を受け取りました。会社の備品を壊し職員に暴力をふるったとして会社側は私たちを非難していることを知り、とても驚きました。会社が私たちを非難しているのは、明らかな間違いです。彼らはお金を持っているので、なんでも出来てしまうのです」と、彼は話す。300 人以上の労働者がこの 2 週間工場で抗議活動に参加しており、解雇された 10 人の復職を要求している。労働者たちは、この 10 人が正当な理由なく解雇されたと主張している。

Master & Frank の経営者である Seang Rithy 氏は、会社が 3 人の労働者に対して取り調べを求めていることを認めた。警察署は、なぜ彼らがこの訴えに関わっているのかに関してまだコメントを出していない。

⑤1/14、Kingsland Garment(Cambodia)工場にてストライキ発生

Walmart や H&M などのアンダーウェアを製造している工場の経営者たちが、いまだ 100,000 ドルほどの未払い賃金があるにも関わらず工場を閉鎖しようとしているとして、労働者たちから非難の対象となっている。

プノンペンの Meanchey 地区にある Kingsland 縫製工場では、この 10 日間、労働者達によって抗議活動が行われており、労働者たちは夜も工場の周りにキャンプをはって泊まり込んでいる。これは、工場の設備を回収しにきた経営者たちを捕まえるためである。この工場は 12 月 29 日から稼働しておらず、もし閉鎖したのであれば合わせて 800,000 ドルを労働者たちに支払う義務がある、と労働者側の代表は、話している。

労働者の Phoung Phearum さんは、国道 2 号線で抗議活動を行なっている労働者およそ 50 人のうちの 1 人だが、彼によると工場周辺で 10 日間泊り込みを行なっている人は、30 人ほどいるという。「僕たちは毎日ここにいます」と彼は話す。加えて労働者代表の Oun Bouy さんは、「2008 年以後 Kingsland で唯一認められている労働組合は、マネージャーの妻が運営しているもので、また、工場にはおよそ 700 人もの労働者が働いているがこの組合に関わるのはたった 20 人ほどである。政府に助けてくれるよう、アピールしたいのです。僕たちには家賃を払うお金もないし、食べ物も買えず家族を支えきれません」と話している。

本件に関し、コミュニティ法教育センターで行われている労働プログラムの代表を勤める Moeun Tola 氏は、「100 人以上の労働者が工場の閉鎖に関してすでに不平を述べに来ている」と言う。また労働団体 Warehouse Workers United の国際問題コーディネーター Nick Rudikoff 氏は、「Walmart 社も Kingsland で起こっている問題に関して責任を共有すべきである。彼らの店に洋服を提供している工場で、ちゃんと労働者が適正に扱われていることを明確にしなければなりません」と話した。

Walmart 社と H&M 社はメールでの質問に対し返答がきた。しかし一方で Kingsland の経営側と香港に住むそのオーナーからはいまだなんの返答もない。

⑥1/15、Gladpeer garment 社にて抗議活動発生

2,000 人以上の労働者が、プノンペンにある Gladpeer 社工場において、1/15、デモ活動を行なった。彼らは、賃金のアップとその他いくつかの要求を掲げている。カンボジアアパレル労働者民主組合連盟の代表 Ngeat Sokum 氏の話によれば、「Por Sen Chey 地区に位置するこの工場に対して労働者たちは賃金アップ(61 ドルから 93 ドル)や長期労働契約の使用、解雇された組合メンバーの復職などをいく度となく求めていたが、工場側はそれを無視し続けていたようだ。もし工場側が労働者側の要求を一切満たそうとしない場合、私たちはストライキを行うつもりである、ということをもっと工場側には知らせてあります。ついに、計画していたストライキが始まりました。20 人以上の警察官が現れたが、暴力などはなかったようです」と話した。



Gladpeer garment 社は H&M や PUMA、Hollister などに製品を提供している工場だが、総務部長の Va Chinda 氏は昨日、「労働者の要求を受け入れることが出来ない」、と話し、「この問題の解決に取り組んでいます、まだ答えは見つかっておりません」と続けた。労働者と組合、そして会社代表と現地職員とを含めた話し合いが、昨日午後に行われたが、なんの解決策を見出すことも出来なかった。そして Sokum 氏は、「今日もストライキを行うつもりだ」、と話し、「今週中に、工場から国道 4 号線に沿ってデモ行進を行おうと考えています。我々は H&M 社に対してアピールを行い、労働者にとってより良い労働条件を確保してくれるように、会社を後押ししてもらいたいのです」と述べた。

H&M 社のメディア担当 Anna Eriksson 氏は、「小売会社は工場を保有しているわけではないので、労働者に賃金を払うことも賃上げを叶えることもできない」、とポスト誌に話している。しかし、カンボジア政府がこの問題にもっと積極的に取り組むようにと、国際労働機関の Better Factories Cambodia プログラムとともに働きかけているという。

以上